

様式第 1

設置工事開始の 30 日前までに提出

特定施設設置届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

松山市長 殿

〇〇町〇〇

届出者

株式会社 〇〇鉄工所

代表取締役 〇〇 〇〇

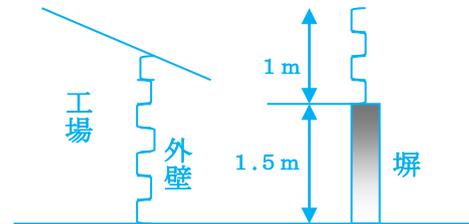
騒音規制法第 6 条第 1 項の規定により、特定施設設置について、次のとおり届け出ます。

工場または事業場の名称	株式会社 〇〇鉄工所		※ 整理番号		
工場または事業場の所在地	〇〇町〇〇		※ 受理年月日	年	月 日
工場または事業場の事業内容	金属加工業		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	38人		※ 調査結果		
△ 騒音の防止の方法	別紙のとおり		※ 備考		
特定施設の種類の	型式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
一 金属加工機械 ホ 機械プレス	KKP-05	100トン	5	8:30	17:30
一 金属加工機械 へ せん断機	KS-1DX	5.5 kW	2	〃	〃
二 空気圧縮機 及び送風機	AIR262	7.5 kW	1	〃	〃

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音機の設置、音源室内の防音装置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

騒音の防止の方法

※ 右図のように、外壁は波形スレート（5 mm）で、さらに、ブロックと波形スレートによる塀を設置し、防止に努める。



※ 窓を2重サッシにして工場内を冷房し、開放しないようにしている。

※ 工場の天井及び外壁に吸音材（グラスウール50 mm）を張り、防音している。

※ コンプレッサーは、消音器を取り付けるとともに、別室を設けてブロックで囲いをしている。

※ 隣接する民家を考慮に入れて、騒音レベルの高い機械を工場中央部に移動し、遮音壁を設置している。

※ 工場内部に緩衝地帯（物置等）を設置して、防止する。

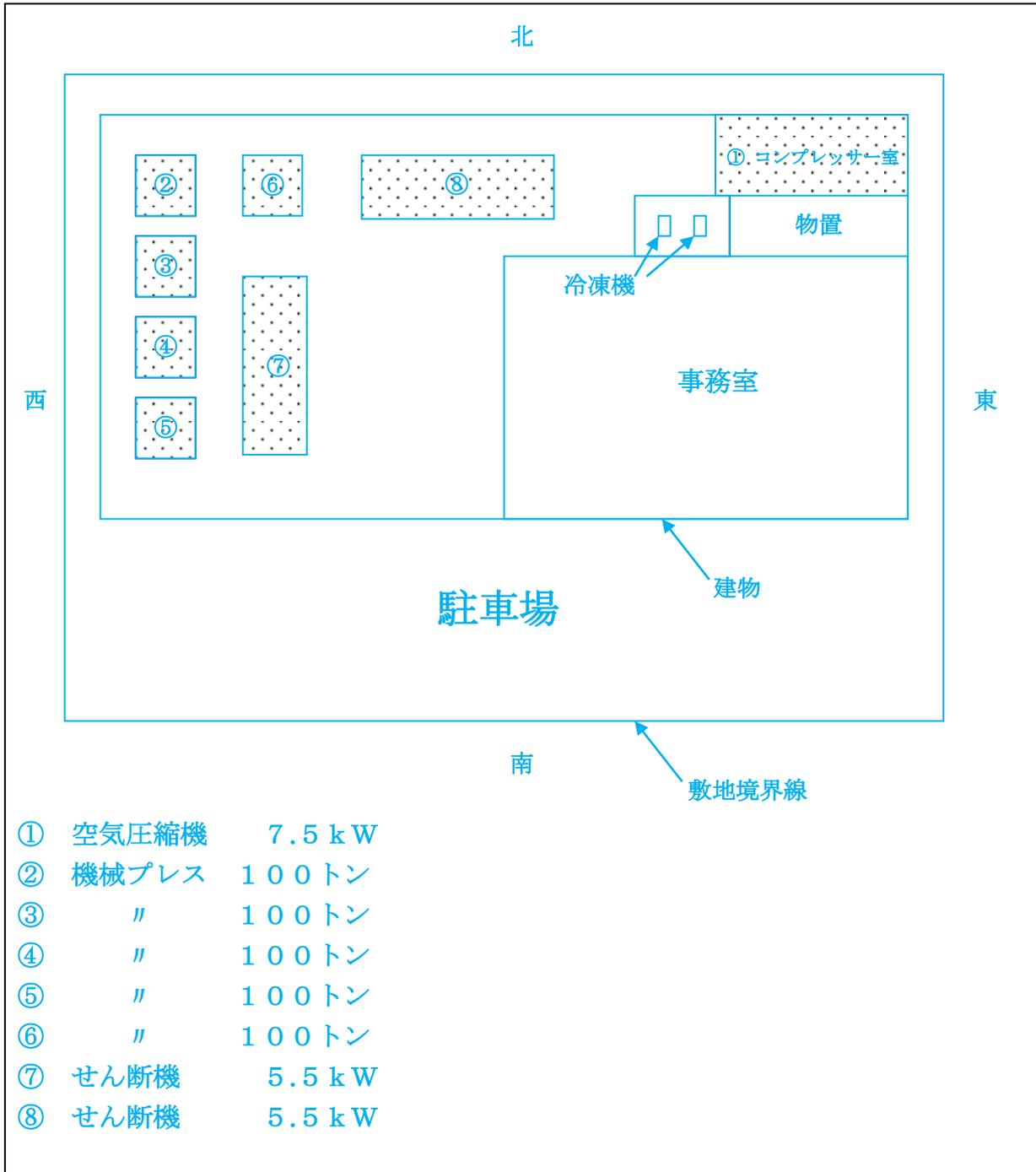
※ 作業場の周囲には、騒音の影響を受ける住居がないので、特別な対策はとっていないが、将来、民家ができる場合には、対策がとれるような余地を残している。

※ 個々の特定施設について対策をとるとともに、工場全体として、壁、塀などを設置して防音に努める。

補足事項

1. 消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音壁の設置等、騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り、図面、表等を利用すること。
2. 現在とっている騒音対策の状況及び将来の計画として考えていることを記入すること。

特定施設の配置図



補足事項

1. 工場及び事業場が広く、添付の用紙では狭すぎる時、いくつかの階に分けて、特定施設を設置している時等には、別紙に記入して提出すること。
2. 方角を記入し、工場及び事業場敷地内の建物及び特定施設の機械の配置を明確にするとともに、事務室や倉庫の位置も記入すること。
3. 工場及び事業場の敷地境界線を明記すること。